

幸田町町村合併60周年記念

平成26年

お社協だより

とびやろ

平成27年

1月号

No. 79

社会福祉法人
幸田町社会福祉協議会



祝ダイヤモンド婚



特集 知って得する!こんな時は、こんな福祉サービスの活用を!社協版 P6.7

- 年頭のごあいさつ P2
- 平成26年度幸田町社会福祉協議会会員入会報告... P3
- 平成26年度赤い羽根共同募金中間報告 P4
- ふくしの広場 P5
- 地域包括支援センターだより P8
- ボランティアだより P9
- お知らせ、トビックス P10
- 平成26年度幸田町社会福祉大会開催報告 P11
- 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者紹介... P12

表紙関連記事は11ページ



この広報誌は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。



年頭のごあいさつ



幸田町社会福祉協議会

会長 黒柳 諭

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

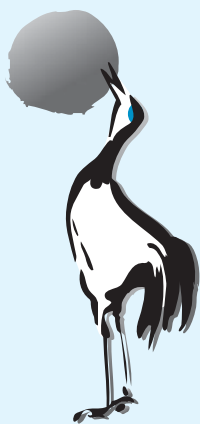
私たちが取り組んできた各種の福祉事業に向け、皆さまのご理解と格別のご支援ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年幸田町は、町村合併60周年を迎え、新たなまちづくりに向けて動き出しました。JR相見駅周辺は新築家屋が増加し、六栗・岩堀・里地区では宅地造成と家屋の建設が行われています。それに伴い、地域における日常生活も変化していきます。その他、夫婦住まい、一人住まいの高齢の方が増加しています。社会経済環境の変化も大きく影響しています。

このような状況の中で、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を使命とする社会福祉協議会は、地域社会の多様な課題を受け止め、その解決に具体的な方策を示すことが強く求められています。

幸田町で暮らす喜びと安心を、皆さまお一人おひとりが実感していただけるような明日を目指して、本町社会福祉の発展のため、努力を続けてまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。



幸田町長 大須賀 一誠

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。また昨年中は、町政各般にわたりまして、多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、我が国においては、急速に進む少子高齢化のもとで、いわゆる団塊の世代が75歳に到達する2025年問題を抱え、医療、介護、予防、生活支援、住まいを一体的に提供する仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築」が大きな課題となっています。この構築にあたり、大きな役割を担っていただくのが専門職を配置している社会福祉協議会が運営する「地域包括支援センター」であり、その活動支援を町としても強化してまいりたいと考えております。

また、社会福祉協議会におかれましては、民生委員・児童委員を始め、福祉関係諸団体、保健医療機関、ボランティアの皆さまを始め地域の方々にご協力をいただきながら、さまざまな地域福祉の推進に努めていただいているところであります。

特に、本年度は、その柱となる町の「地域福祉計画」や社会福祉協議会の活動の指針となる「地域福祉活動計画」の策定を進めているところであります。「自助、互助、共助、公助」を組み合わせ、地域で助け合う心を育て、地域福祉の推進を図っていくためにも、今後も引き続き社会福祉協議会と町との連携を深めていきたいと考えております。

結びに、本年が皆さま方にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成26年度

幸田町社会福祉協議会会員入会報告

ご加入ありがとうございました

今年度も幸田町社会福祉協議会会員の入会をお願いしましたところ、多くの皆さまからご協力いただき、また、ご入会された皆さま、また、会費の取りまとめにご協力くださいました区長さんに心からお礼申し上げます。皆さまからいただきました会費は、主に福祉への理解を深めていただくための啓発活動や福祉団体やボランティアの活動支援などの地域福祉活動の推進等に使用させていただきます。

◆賛助会員

幸田町民生委員・児童委員 38名
幸田町議会議員 16名
幸田町管理職 55名
幸田町社協役員・評議員 39名
(個人のお名前については、省略させていただきます)

◆特別会員ご芳名

(順不同・敬称略)

平成26年度の加入状況
(平成26年12月16日現在)

会員の種類	会員数	一口	金額
一般会員	8,827世帯	300円	2,648,300円
賛助会員 個人・団体等	148名	1,000円	337,000円
特別会員 法人・事業所等	81事業所	3,000円	365,000円
合 計			3,350,300円

- ◆(有)本田屋商店
- ◆いちかわ歯科
- ◆あいち三河農協幸田支店
- ◆(株)加藤工業
- ◆(有)カンドリ工業
- ◆愛知自動車(株)
- ◆轟醸造(株)
- ◆蒲郡信用金庫三ヶ根支店
- ◆西山みみ・はな・のどクリニック
- ◆(株)三ヶ根観光社本社営業所
- ◆(株)タナカ
- ◆佐野胃腸科外科
- ◆特別養護老人ホームまどかの郷
- ◆まどかの郷デイサービスセンター
- ◆鈴木眼科医院
- ◆豊川信用金庫幸田支店

- ◆(有)ホンダ自動車
- ◆三河クリニック
- ◆丸七建設興業(株)
- ◆デイサービス水仙
- ◆(有)たいよう
- ◆デイルーム幸田
- ◆アス力(株)幸田工場
- ◆幸南工業(株)
- ◆岡崎信用金庫幸田支店
- ◆(株)伊藤建設
- ◆碧海信用金庫幸田支店
- ◆(株)ササノ合成
- ◆愛幸自動車
- ◆幸田町商工会
- ◆(株)山本組
- ◆幸田中央クリニック
- ◆あいみ歯科
- ◆医療法人やまざきクリニック
- ◆デイサービスせ・ら・び
- ◆(医)翔友会あり姫
- ◆とみた小児科
- ◆金星工業(株)幸田工場
- ◆小原建設(株)幸田営業所
- ◆トヨコンロジスティックス(株)
- ◆幸田マシナリー(株)
- ◆さかきばら歯科
- ◆三河舗装建設(株)
- ◆(株)ニシオ
- ◆西尾信用金庫幸田支店
- ◆(有)白光舎
- ◆和幸建設(株)
- ◆日軽エムシールミ(株)
- ◆(株)幸田セントラルボウル

- ◆三河観光(株)
- ◆エムオールシー幸田(株)
- ◆(株)デンソー幸田製作所
- ◆村越建設(株)
- ◆(株)豊幸
- ◆京ヶ峰岡田病院
- ◆幸田塗装(株)
- ◆ソニーイーエムシーエス(株)幸田サイト
- ◆(有)レミックス
- ◆ケアホーム穂の香
- ◆セントラルコンベヤー(株)
- ◆(株)石原組
- ◆こうた皮フ科クリニック
- ◆(株)佐藤渡辺幸田合材工場
- ◆(株)本多工務店
- ◆高柳産業(株)
- ◆豊坂建材(株)
- ◆こん野ファミリークリニック
- ◆パナソニックエコソリューションズ
- ◆住宅設備(株)幸田工場
- ◆デイサービスHilobcare
- ◆葵カントリークラブ
- ◆むらかみ整形外科
- ◆(株)エンヤ
- ◆東海アルミ工業(株)
- ◆三ヶ根クリニック
- ◆鈴木内科
- ◆花笠商事(株)
- ◆植田歯科医院
- ◆吉良建設(株)幸田支店
- ◆レッツ倶楽部幸田
- ◆特別養護老人ホームつつじヶ丘
- ◆つつじヶ丘デイサービスセンター



平成26年度 赤い羽根共同募金中間報告 ご協力ありがとうございました

本年度も皆さまの温かいご支援とご協力により、4,713,716円の募金が集まりました。ご協力、誠にありがとうございました。

皆さまからお寄せいただきました募金は、愛知県共同募金会でまとめられ、幸田町の地域福祉の向上に、また愛知県内の社会福祉事業に役立てられます。
(順不同・敬称略)

●戸別募金4,235,234円

幸田町各地区の皆さま

●職域募金61,044円

幸田町役場
幸田町文化振興協会
幸田町シルバー人材センター
ももの木保育園
幸田町社会福祉協議会

●興行募金13,875円

健康福祉まつり

●学校募金212,863円

坂崎小学校	豊坂小学校
幸田小学校	幸田中学校
中央小学校	南部中学校
荻谷小学校	北部中学校
深溝小学校	幸田高等学校

●街頭募金77,124円

幸田町ボランティア連絡協議会
幸田町老人クラブ連合会
幸田町母子寡婦福祉会
幸田町身体障害者福祉協会
幸田町手をつなぐ育成会
幸田町聴覚障害者連絡協議会
幸田町遺族会
ボーイスカウト幸田第1団
ボーイスカウト幸田第3団
幸田町社会福祉協議会

●その他の募金113,576円

○赤い羽根協力店24,338円

幸田町商工会	平野歯科クリニック
幸文堂	磯貝歯科医院
幸田憩の農園	植田歯科医院
ドミー幸田店	不破歯科医院
ピアゴ幸田店	さかきばら歯科
マグフーズ幸田店	さんがね歯科
マックスバリュ幸田店	いちかわ歯科
カメラア(町民会館内)	ふじえ歯科
幸田郵便局	あいみ歯科
とうふや豆蔵幸田店	うおすみ歯科
かべや歯科医院	やまもと歯科醫院
わたなべ歯科医院	

○こうた女性の会10,000円

○幸田町消防本部消和会54,000円

○役場・社協窓口等25,238円

募金額

4,713,716円

(平成26年12月16日現在)



※12月17日以降に集められた募金は平成27年4月号に掲載します。



地域福祉計画を作っています

現在、幸田町では平成27年度からの地域福祉計画を作成しています。地域福祉計画は「共に助け合うまちづくり」「安心して住み続けられるまちづくり」を進めていくための具体的な取り組みが位置づけられる計画で、社会福祉協議会の活動の方向性を示す計画でもあります。

計画を作成するにあたり、ふくし座談会や団体ヒアリングなどが実施され、地域の生活課題が集められました。現在は、集められた生活課題に対し、「どのような取り組みができるのか」を住民の代表の方や幸田町役場の関係各課、社会福祉協議会と一緒に考えています。

本年2月頃には計画素案が完成し、幸田町のホームページにてパブリックコメント（意見募集）が実施される予定です。



ふくし座談会（荻谷学区）



ふくし座談会（坂崎学区）

自分のまちを良くするしくみについて、考えてみませんか？



いきいきサロン 訪問記 No. 11

今回は、大草いきいきサロン「きらく会」を訪問しました。

きらく会は、毎月第2、第4土曜日の午後1時から午後4時まで、大草下西コミュニティホームで開催されています。

最初に2名の方のお誕生会が開かれ、皆で誕生日をお祝いしてみえました。

続いて、「あゝ人生に涙あり（水戸黄門）」や「どんぐりころころ」の音楽に合わせて、体操が行われました。

きらく会では、創作活動も積極的に行っています。訪問時には、クリスマスツリーに飾るサンタクロース作りをされていました。

最後にカラオケを順番に熱唱し、皆さん楽しく過ごされている様子でした。



この日のスケジュール

13:00～13:20	お茶会
13:20～13:30	お誕生会
13:30～14:00	音楽に合わせて体操
14:00～14:30	懐メロ替え歌合唱
14:30～15:00	クリスマスツリー飾り作成
15:00～15:30	お茶会
15:30～16:00	カラオケ

問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

こんな福祉サービスの活用を！

へえ、社協って
こんなことしてるんだ！



社協版

お金に関する困りごとを抱えている人のために

- ひとりで契約や金銭管理をするのが不安 → 日常生活自立支援事業
- 一時的に家計がピンチ！お金を貸してほしい → 貸付事業
- 離婚や相続、多重債務…法律って難しい → 法律困りごと相談



地域で活動する人のために

- 余った時間を有効に使いたい、ボランティア活動がしたい → ボランティアセンター
- 行事でレクリエーション用具を使いたい → レクリエーション用具の貸出
- 同じ立場の人と話がしたい → 各種福祉団体



○日常生活自立支援事業

ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の出し入れ、書類の管理などに不安のある方のお手伝いをしています。
※対象者要件があります。



○ボランティアセンター

ボランティアをする人と求める人の仲介をしています。
気軽に活動に参加できるよう、ボランティア講座を定期的を開催しています。



○貸付事業

一時的に生計の維持が困難になった場合に、生活費などをお貸しします。
※所得要件や審査があります。



○レクリエーション用具の貸出

輪投げや着ぐるみなどを無料で貸し出しています。地域での行事にぜひご利用ください。
※電話で事前予約が可能です。



○法律困りごと相談

毎月第1・第3水曜日に司法書士による無料法律相談を行っています。
※1週間前までの事前予約が必要です。

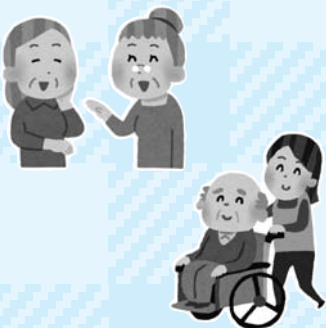


サービス利用に際して、利用料のかかるものや、利用条件のあるものがあります。
詳しくは、社会福祉協議会（62-7171）
又は地域包括支援センター（62-7331）
にお問い合わせください。

知って得する! こんな時は、

社会福祉協議会（通称：社協）をご存知ですか？社協では、さまざまな福祉サービスを実施しています。「骨折して車イスが必要だけど…」「急に親の介護が必要になって…」そんな時、何も知らないと慌ててしまいますが、知っていれば落ち着いて行動できる、少し便利に暮らせる。今回は、そんな“知って安心”“知って得する”情報をお届けします。

高齢者のために



高齢者のことなら、何でも相談にのります

いつまでも“げんき”に過ごしたい

ちょっと集まっておしゃべりしたい

一人暮らしで、何かあった時が不安

車イスで外出したい

介護保険を知りたい

介護を手伝ってもらいたい

➔ 地域包括支援センター

➔ げんきかい

➔ いきいきサロン

➔ 見守り配食サービス

➔ 車イスの貸出
➔ 車イスのまま乗れる福祉車両の貸出

➔ ケアマネジャーが相談にのります

➔ ホームヘルパーがお宅に伺います

○地域包括支援センター

高齢者に関わる様々な相談

に対応しています。ご本人からはもちろん、ご家族や関係者からの相談にも応じています。

地域介護の
中核拠点です！

○げんきかい（介護予防事業）

健康づくり、介護予防を応援するために、体やお口、頭の体操を行っています。町内4か所の会場で開催しており、送迎バスも運行しています。参加したい方は、地域包括支援センターにお問い合わせください。



○いきいきサロン

身近な公民館などに集まり、お茶やお話、ゲームなどを行っています。町内に26か所のサロンがあります。参加したい方や開催日時などを知りたい方は、社協にお問い合わせください。

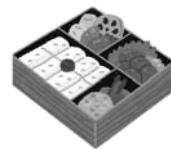
○見守り配食サービス

安否確認を目的に、おおむね

75歳以上のひとり暮らしの方

へ、月曜から金曜までの夕食を手渡しでお届けします。緊急時には、登録されたご家族や親戚に連絡が入る仕組みになっています。

※利用料がかかります。



○福祉車両の貸出

車イスのまま乗れる軽自動車

を無料で貸し出しています。通院や外出の際にご利用ください。電話での事前予約が可能です。

※ガソリン代相当分を窓口でお支払いいただきます。



社協では、福祉に関する情報やパンフレットなどを取りそろえています。知りたいことや相談したいことなどありましたら、お気軽にお越しください。



地域包括支援センターだより

「がんばりすぎない介護」をしましょう

長続きさせるポイントを心掛けて介護をしませんか？



一人で介護を背負い込まないで

『私さえ、がんばれば…』とがんばっても、介護はいつ終わるともわからない長い道。気持ちは長続きしません。一人で抱え込まず、周囲の人に「協力してほしい」と気持ちを素直に伝えましょう。家族で介護の分担ができるといいですね。地域包括支援センターなどに相談したり、同じ立場の介護者の交流会などに参加してみましょう。



サービスを利用しましょう

『人様のお世話になるなんて…』と思わないで。介護の状況が深刻になりすぎないうちに、早めに相談しましょう。介護保険制度では、ケアマネジャーがその人にあったサービス選びのお手伝いをしてくれます。

サービスを上手に利用して、自分の時間を作ることも大切です。



できるだけ楽な方法を考えましょう

介護用品や福祉用具を上手に使いこなせば、介護の負担は軽くできます。介護食もすべて手作りせずに、市販のレトルト食品をアレンジすると簡単ですよ。

介護を受ける方にも、できることは自分でしてもらうようにすると、自立にもつながります。おむつ交換の時にちょっとお尻をあげてもらって、それだけで、介護者の身体の負担は大きく違いますよ。

実際に介護している方には、『介護なんてがんばらないとできないのに』という想いもあるかもしれません。けれど、介護する人がストレスをため込んでしまったり、病気で倒れてしまうのはもっと深刻です。無理をせず、できる範囲で行い、自分自身を大切にすることも忘れずに。

介護する人もされる人も、お互いに過度の負担を強いないで、介護と上手につきあっていきましょう。



認知症サロンのご案内

第1回認知症サロンを11月7日(金)に中央公民館で開催したところ、認知症の方を介護しているご家族やケアマネジャーの方々など計19名にご参加いただきました。介護経験のあるご家族・相談員を交え、日ごろの介護の悩みや心配事を話しながら家族同士で交流をしました。みなさん初めは不安そうな表情で入って来られましたが、帰る頃には笑顔が見られました。

その認知症サロンの第2回を2月に開催します！次回は認知症のあるご本人もご参加いただけます。ご本人もご家族もゆっくり過ごしていただけるような場をつくりますので、ぜひご参加ください。

- 日 時 2月8日(日) 午前10時30分から午後3時まで
- 場 所 高齢者ふれあいプラザ(上六栗)
- 対 象 者 認知症の方とその家族
- 参 加 費 無料



お申込みは必要ありません。出入り自由ですので、気軽にお立ち寄りください♪

高齢者や介護に関する悩みや疑問など・・・なんでも気軽にご相談ください。
幸田町地域包括支援センター 電話62-7331 FAX62-7254

ボランティアだより

1月17日は防災とボランティアの日

1995年1月17日阪神・淡路大震災が発生して、今年で20年が経過します。

この時学生を中心としたボランティア活動が活発化し、多くの人が活動したことから、1995年は「日本のボランティア元年」と言われています。また、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、1月17日は「防災とボランティアの日」と制定されました。

長野県北部地震犠牲者ゼロ 被災者を救った助け合いの精神

昨年11月22日、最大震度6弱を観測した長野県北部の地震は、白馬村で住宅が全壊するなど、大きな被害がありましたが、犠牲者は1人も出ませんでした。

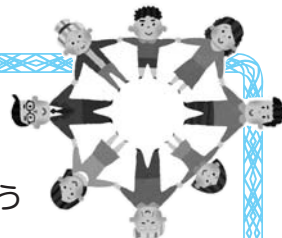
この背景には住民同士の深いつながりがあります。深夜にも関わらず、近所の住民がすぐに現場へ駆けつけ、倒壊家屋の下敷きになった高齢者や幼児を救い出しました。普段から地域住民の顔が見え、助け合える関係が浸透していたことが、犠牲者ゼロという結果を生みました。

広げよう！近所で助け合える関係！

災害はいつ起こるかわかりません。幸田町においてもいざという時に今回の長野県のように迅速な救出が行われることを目指したいですね。普段からの助け、助けられる関係が災害時にも生きてきます。

知っているだけであなたも助けられ上手に！

- 地域でお手伝いをしてもらえる相手が誰かを覚えておきましょう
自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、行政、社協など、身の回りを確認してみましょう。地域行事や防災訓練に参加するなど、地域の人と普段から顔見知りになっておくことが大切です。
- ボランティアを体験したり、勉強したりして、活動への理解を深めましょう
災害ボランティアは地震だけでなく、豪雨災害の被災地など、活動の場は広がり、復旧・復興に欠かせない存在になっています。
- 災害時要援護者支援制度を利用しましょう
この制度は、支援を必要とする本人や身内が、事前に支援を申し出て登録し、災害時の支援に役立てる制度です。幸田町役場防災安全課で随時受け付けています。



問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

ベルマーク回収へのご協力 ありがとうございました！

幸田中学校ベルマーク委員会



集められたベルマークは、ベルマーク教育助成財団を通じて、主に東北の被災地支援活動に使用されます。来年も回収活動を行う予定ですので、引き続きご家庭でのベルマーク収集にご協力をお願いします。

Information

お知らせ

ご寄付 ありがとうございました

H26.10.3-H26.12.16

●現金

(順不同・敬称略)

(株)石原組従業員一同	2,600円
アトリエジャスト	5,200円
親子文化を育てる会	2,000円
幸田町グラウンド・ゴルフ協会	147,379円
稲吉光夫(横落)	2,000,000円
匿名	100,000円
匿名	19,200円

●物品

マックスバリュ幸田店	車いす 1台
------------	--------

幸田町老人クラブ連合会

スポーツ大会

10月20日(月)に民生委員・児童委員やボランティアの協力をいただき、幸田中央公園で開催され、会員約460名が出場しました。

普段から健康に留意されている会員が、まだまだ若いものには負けられないとばかりに一生懸命に競技をされ、最後まであきらめずにゴールする勇姿に会場内から惜しみない拍手が湧き上がっていました。

親善ゲートボール大会

10月30日(木)に幸田中央公園で開催されました。

町内各地区から23チームが出場し、5リーグに分けて対戦を行いました。各リーグでは、それぞれに戦略を立てながら熱戦が繰り広げられました。

大会結果 総合優勝 須美チーム
 総合準優勝 永野チーム

ペタンク大会

11月13日(木)に幸田中央公園で開催されました。

町内各地から30チームが出場し、6リーグに分けて対戦を行いました。各リーグでは、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、チームで協力し合いながら楽しく競技が行われました。

大会結果 総合優勝 市場Aチーム
 総合準優勝 横落Aチーム

Topics

トピックス



幸田町町村合併60周年記念 平成26年度 幸田町社会福祉大会開催報告

11月27日(木)、幸田町民会館で平成26年度幸田町社会福祉大会が開催されました。
社会福祉関係者が一堂に集まり、社会福祉に貢献された方々へ顕彰や、長寿等のお祝いをするとともに、福祉のまちづくりに向けての大会宣言をしました。

顕 彰

幸田町社会貢献活動感謝状贈呈

◇奉仕功労者・団体

稲 吉 繁 雄
野 畑 久 良

幸田町社会福祉協議会会長表彰状贈呈

◇福祉団体功労者

幸田町遺族会 鈴 木 雅 史

◇社会福祉協力校

愛知県立幸田高等学校

幸田町社会福祉協議会会長感謝状贈呈

◇福祉団体功労者

幸田町老人クラブ連合会	岩 瀬 秀 夫
幸田町老人クラブ連合会	山 本 勉
幸田町身体障害者福祉協会	石 川 勝 吉
幸田町身体障害者福祉協会	長 谷 恒 代
幸田町遺族会	神 取 幸 枝
幸田町遺族会	近 藤 好 美
幸田町母子寡婦福祉会	杉 浦 禮 子
幸田町聴覚障害者福祉協会	高 橋 真 也

◇社会福祉事業多年勤続者

民生委員・児童委員	足 立 和 彦
民生委員・児童委員	太 田 好 司
民生委員・児童委員	山 口 直 美

◇社会福祉事業協力者

株式会社 苔善
セレモニーホール幸田
平 井 豊
マロー観音(賽銭)
三河観光開発株式会社 葵カントリークラブ

◇社会福祉事業の進展に寄与した者

リズムボランティア♪なるこ
在宅介護者 小 濱 玉 枝
在宅介護者 近 藤 礼 子
在宅介護者 内 藤 定 美

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者伝達

◇書道の部 愛知県共同募金会金賞

幸田町立南部中学校 3年 齋 藤 好 香

(順不同・敬称略)

長寿等お祝い

白寿(99歳)	7名
米寿(88歳)	130名
ダイヤモンド婚(結婚60周年)	24組
金婚(結婚50周年)	44組



体験発表

「お年よりに笑顔の花をさかせよう」

幸田町立中央小学校
6年 乾 満 帆



「相手の立場を考えて」

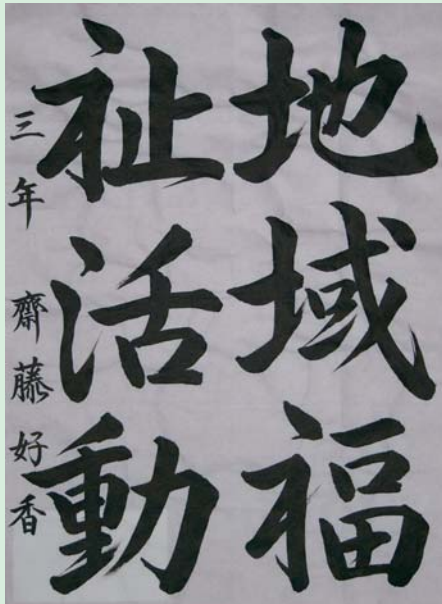
幸田町立南部中学校
3年 齋 藤 好 香



赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール 入賞者紹介

第66回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールに町内の小中学校から、書道の部に1,301点、ポスターの部に1,141点の応募がありました。その中から18点の作品が優秀作品に選ばれました。(敬称略)

■愛知県共同募金会金賞



南部中3年 齋藤好香

■愛知県共同募金会佳作



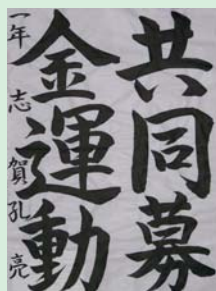
中央小4年 竹野祥奈



中央小5年 田境あまね



荻谷小6年 岩近陽香



幸田中1年 志賀孔亮



幸田中1年 赤堀友祐

■幸田町共同募金委員会会長賞

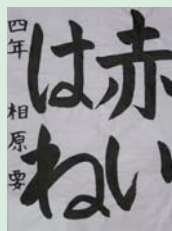


中央小6年 竹野稜



幸田小5年 羽根渚小登美

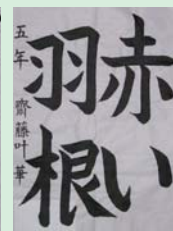
■幸田町共同募金委員会特別賞



坂崎小4年 相原 要



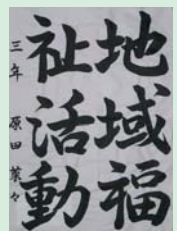
荻谷小4年 田中清奈



深溝小5年 齋藤叶華



幸田小6年 浦山妃菜



北部中3年 原田菜々



坂崎小3年 小野咲良



幸田小4年 高嶋咲里



豊坂小2年 山本渚颯



南部中2年 齋藤寛太



北部中3年 横野天奎

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4

電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254

居宅介護支援事業所 (0564) 64-1069 訪問介護事業所 (0564) 83-7273

地域包括支援センター (0564) 62-7331

Eメール kotashakyo@tuba.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~ktshakyo/>



この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。